



新春のご挨拶を申し上げます。  
岐阜ダルクニューズレター 新年号をお届けします。  
今年も私達の活動を少しでも皆様に知っていただける事を願って  
皆様にメッセージをお届けいたします。  
どうかよろしくお願いたします。

### 新年あけましておめでとうございます

皆様方に支えられまして、岐阜ダルクもお正月を迎える事ができました。  
心よりお礼を申し上げます。

数年前に出会った岐阜県在中の青年が、ある日突然亡くなりました。  
僕はその出来事がキッカケとなって岐阜ダルク設立へと動き始めました。 なにもありませんでしたから、動いて作るしかなく、高山、大垣、羽島、中津川、土岐、美濃加茂等にメッセージを運びました。 岐阜市内も市役所、県庁、学校、教会、保険所等  
にお願いに上がりました。 一方で岐阜ダルク準備委員会を立ち上げましたが、いるのは僕一人で小さな弱い活動が続いて行きました。  
それまでの経験で必要だったら、岐阜ダルクが誕生すると信じていました。  
僕がすることは今日だけ出会った方々にメッセージを伝える事だけでした。 岐阜ダルク誕生までに2年半の歳月を要しましたが、あきらめずに続けていければ、必ずかなうと言う証です。 僕の小さな活動は、遠山香さんへと、しっかり受けつがれました。今年も岐阜ダルクは運営費がありません。 もう少し皆様に支えてくださいます様、心からお願いいたします。

感謝の内に

ダルク 外山 憲治

## 今年もよろしくお願いたします

昨年末に行なわれた岐阜ダルク1周年フォーラムでは、秋田、仙台、川崎、群馬、東京、那須、びわこ、三重、奈良、名古屋から仲間が応援にかけつけてくれました。経費節約のため、看板を手作りしたため、朝早くからボランティアの方に手伝ってもらいました。そして、家族会の方々や仲間が会場準備をしてくださいました。

薬物依存症は無理解が多いため、人が集まるかとても不安でしたが、156名定員の会場は満員となり、ほっとしました。当日の朝「あたたかいフォーラムになりますように」と心から祈りました。後援会長・由井神父様をはじめ、司会進行役の外山氏、ゲストスピーカーのアーサー・ホーランド牧師様の涙あり、笑いありのお話、仲間達の体験談、ダルク創設者の近藤氏も特別出演して下さい、そして何よりも会場にお越しくださいましたたくさんの方々のおかげで私の祈りはかなえられました。本当にありがとうございました。

さて、年も明け、今日も吹さすお逆風もなんのその、長良川のマラソンコースを走ります。逆風の中を走っていると、「ダルクの活動は、逆風の中を活動してきた」という先行く仲間の言葉を思い出します。20年前ダルクが創設された当時は今と比べものにならない程、無理解があった事でしょう。そのような中、ダルクの扉が開かれ続けていたおかげで回復の道を歩み始める事ができました。岐阜ダルクの扉を開き続ける事ができますよう、精一杯努力していきますが、それには皆様の力が必要です。どうか今年も岐阜ダルクを支えてくださいますよう、心からお願いたします。

岐阜ダルク代表 逸山 香

## ～ 岐阜ダルクの仲間の今年の抱負 (豊盛・ほうふ) ～

昨年、約半年前から岐阜ダルクに来  
てから、たくさんの仲間達に出会い、  
たくさんの事を学ぶ事が出来た様な  
気がします。その結果、とても僕に  
とって、さまざまな感情や思いなど、  
振り返って昨年は最高でした。

今年始めにおみくじを2回ひきま  
した。大吉と大吉でした。と、言  
うことで今年の抱負は「やる気があ  
る」。そういう気持ちを持って色々

な事をとりこんで行きたいです。

香

はじめまして。去年、岐阜ダルク  
に相談にきて、今年に入り入所しまし  
た。体の具合が悪く、以前の様に元気  
になれるか毎日が不安です。今はと  
にかく言われた事をやるだけです。

ダイキ

## 仲間のメッセージ

### 寒い冬を受け入れて

去年の1月から名古屋ダルクに通所を始めて、1年が経ちました。

三河ダルク設立に向けて、今は三河の教会、行政、病院などを廻っています。冬の寒い中、歳末助け合いや署名活動など、街頭で助けを求めている人達に出会います。今までは他人事の様に通っていましたが、自分が献金集めをする様になり、思わず足を止める様になりました。

週末、岐阜ダルクに通所し、寒さに凍えそうになりながら、「寒～い」と文句を言いながら、今日もなかまミーティングをしています。

いつもダルクに援助、ご支援をありがとうございます。

寒い冬を受け入れて、新しい出会いを求めて、あたたかい春を待っています。皆様にとってあたたかい2006年になります様、祈っています。

笠嶋 敬

### 岐阜ダルクで…

ダルクで誰もいない場所は初めてだったよ…

ミーティングが終わって責任者にダルクに連れていってもらって、1人だけになって「どうしよう」。毎日X2考えていた。施設の中でちょっとした音に敏感に反応してみたり、キョロキョロしていたり、落ち着かなかったりで、薬使っている時みたいな気分だったし。でも、朝「おはよう」って玄関から入って来る責任者の声を聞いて、一人じゃないんだって思えた。



岐阜にこれて良かった。名古屋、三重、岐阜のMTに仲間と自分の足で行けた。仲間が走っていたから一緒に走れた。バーベルやっていたから、みんなとできた。どれも初めは嫌な事ばかりだった(笑) 仲間の「力」ってでかいなあって思うよ。ホントに、みんなと一緒に時はあまり思わない事でも、1人になったとき、離れた時に気づく物ってすごいよね。

岐阜で沢山の出会い、経験があった事、メンバーのみなさん ありがとうね。  
秋田ダルク しんすけ

# 特集!



昨年12月18日(日)に岐阜メモリアルセンターにて、岐阜ダルク1周年フォーラムが開催されました。多くの皆様にご参加いただき、会場の受付に設置させていただいた献金箱には皆様から、¥199,000ものご献金をいただきました。

本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

当日、参加していただいた方々から、フォーラムの感想をお寄せいただきました。

## ダルクへの感謝と応援歌

日本キリスト改革派 那加教会(各務原市) 牧師 中根 汎信

NAのミーティングのとき案内をいただいていた「岐阜ダルク一周年フォーラム」に、大きな期待をもって出かけた。それは自分の予想を超えたあらゆる面で「盛大」な集会であった。参加人数・熱心・真剣さ・祝福・内容…どれも「素晴らしい」のひとつことである。このような集会に参加させていただき、本当に感謝している。わたしやわたしが働いている教会が、薬物依存症とたたかっている人たちとのかかわりが始まったのは、今から2年半ほどまえの2003年6月からである。以来、月曜日夜にNAのミーティング会場として、教会の一室を使っていたくようになった。そのおかげで、責任者の遠山香さんやはるさんを中心としたメンバーの方々とのおわりや、ミーティングにもときどき出させていただくようになった。

岐阜ダルク一周年フォーラム開催までの準備と運営は、どんなにか大変なことだったかと思う。経費のかかるダルクにとって、資金的なことでは苦労がたえないことであろう。教会堂の建築のため、かなりの未返済金を抱えている者として、お金の苦労のたいへんさは少しは分かる気がする。しかしお金のことだけでなく、わたしどもの知り得ない苦労はそれ以上と思う。そのご苦労の一端を今回のフォーラムで感じることができた。しかし苦労以上の何ものかが、岐阜ダルクの結成と運営をつき動かしていると感じた。教會的な用語で言えば、「召命感」であると思う。ダルクではハイパーパワーという言葉がよく使われる。聖書の言葉で言うなら、主イエス様、主なる神様こそ、

ハイパーパワーである。この主なる神様がお召しくださった使命こそ、ダルクの使命であろう。

土曜日は何かと牧師にとって用事が多い。教会の仕事を済ませて、フォーラム会場に駆けつけたが、少し遅刻をしてしまった。すでにほぼ満席の状態であった。始めから遅刻は分かっていたが、申し訳ない気持ちで入っていった。しかしいつもの顔馴染みの香さんやはるさん、まおさんが、受付で暖かく迎えて下さり、ほっとしていると係りの人が席まで案内してくださった。この暖かさは、ずっと今日まで続いている。ゲストスピーカーのアーサー・ホーランドさんは、タイプはズいぶん違うが、愉快な話の背後にある主イエス様の愛と恵みを感じることができた。さらに感銘を受けたのは、7名ほどの方々の体験談であった。トップバッターのはるさんの話から、次々に語られるひとりひとりの真剣で飾らず真実な言葉に聞き入った。とってもしんどい人たちに思えた。とくに最後の岐阜ダルク代表、遠山香さんのお挨拶に、心うたれた者は私一人ではないだろう。

ダルク創設者の近藤恒夫氏は、「命のリレー」がダルクの使命であると言われた。薬物のリレーから命のリレーとはすばらしいの一語である。「不必要な人は一人もいない」という近藤氏の言葉も、真実の言葉と思った。リレーされてすでに3代目?すでに全国40ヶ所ものダルクがあり、この地方にも名古屋・三重・琵琶湖・岐阜に設立されている。さらに今、三河ダルクが設立準備中という。ダルクの活動がもっと多くの人に知られ、理解され、利用されるように願っている。アディクトの人、家族やまわりの人、行政や教会、一般の人、若い人たちと思う。そのためにNPOのことやホームページについて、遠山香さんにお尋ねしたところ、すでに取り組み始めておられることである。岐阜ダルクがこれからいっそう発展し、多くの薬物依存症の方々やそのご家族、まわりにいる人々の救いの場となるようにと折り願っている。主なる神様が岐阜ダルクに係わっている方々に、いっそう力と恵みを注いでくださるように。ダルクへの応援歌として、次の聖書の御言葉を記したい。

「主に望みを置く人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。」(旧約聖書・イザヤ書40章31節)



愛知家族会 田中 修

雪が残る中、仲間と一緒に岐阜ダルク1周年のフォーラムに参加しました。

場所がわからず、仲間に電話して聞きながら、雪に足をっこみながらたどり着きました。

会場では色々な仲間が参加していて、皆で協力しあって、とても暖かい感じのフォーラムでした。フォーラムの中での話しは聞き入った話もありました。涙が出てきてここで泣いたらかっこ悪いと、くだらないフライドが出て我慢しながら聞きました・・・

私自身の力にもなり、寒い中行ってよかったな〜と感じました。ありがとうございました！

まだ一年だと言うのに、がっつりと根をおろしていると感じました。議員さんが話をして下さったことは、ダルクの存在活動が、行政に少しでも近くなるのでは、寒い中、参加者がたくさんいた事、依存者を持つ家族として明るい気持ちになれました。私は家族会の仲間と参加させてもらいましたが、楽しい気持ちになり、電車の中で分かれるまで笑っぱなでした。

愛知家族会 ひろりん

責任者の遠山雪さんが、本当によく頑張っておられるという事をまず第一に感じました。貴方はこの事で、人間的にずいぶん成長されるでしょう。お金集めの苦労、その他諸々の重い責任が貴方を大きな人間に育ててくれると信じます。後援会長の由井滋徳のお人柄の良さ、お話を伺ってよく分かりました。アーサー・ホーランド師のユニーク話、とても面白く、かつ勉強になりました。日本人以上に日本の文化・歴史を良く勉強しておられる事に感心しました。

野田国会議員をこの場に呼ばれた事も花をぞえられましたね。

それから、ダルクの皆さん。特にこの日の為に、精一杯のおしゃれをして、トラ柄のモヒカンの頭でお話しをされた貴方、心から応援します。薬を使わない日を重ねて、薬を使わない習慣が日常になっていく事を心から願っています。皆さん、御身体大切に。貴者の一灯として、わずかですが、これから毎月献金させていただきます。

愛知家族会 池田 ひろみ

岐阜ダルク1周年おめでとう。皆さんの頑張りの賜物です。正直な話やうらしい話など貴重な話しを聞かせてもらい、とても感謝しています。必要だから有り続けられると思います。これからも苦しんでいる人たちのために、私たちのために、有りつけて下さい。

ピア岐阜 アイ

回復している人の話しは家族にとって希望が持てると思います。今回、岐阜ダルクのフォーラムを聴いて改めてそう思いました。外山・近藤・アーサー・ホーランド氏の草創たる人達の話を聞いて胸にじんとききました。特にアーサー氏の話しは非常に説得力があり話しに引き込まれました。そして、回復している人達の話しを聞いて薬物を止め続ける事の大変さが伝わってきました。これからフォーラムに足を運ぼうと思います。

12月活動報告

- 12/2 本巣市立本巣中学校講演 愛知県立大学講演
- 12/3 NA PI セミナー ライフアース上映会&坂上香トークセッション
- 12/5 各務原病院・薬物ミーティング
- 12/10 慈恵中央病院 NA ミーティング カウンセリング勉強会講話
- 12/17 岐阜ダルク1周年フォーラム 12/18 カトリック五反城教会講演
- 12/19 各務原病院・薬物ミーティング
- 12/22 岐阜市社会福祉協議会・寄付金贈呈式
- 12/25 おがせキリスト教会ゴスペルハウス・クリスマス会参加
- 12/31 1/1~3 中部エリア NA 年末年始フェロシップ(三重)参加

献金者名

★ ~12月31日受付分 (敬称略・順不同)

たくさんの皆様より献金・献品をいただきまして、有難うございます。引き続き、皆様の心温まる、ご支援を心からお願い申し上げます。

大須賀すみ 岡田喜美江 岡田千歳 吉田和郎 高井浩 小島浩一 笹田参三  
 鈴木邦雄 日比野仁 穂波万有里 森裕之 吉田和郎 渡辺雅子 永窪正一 森弥生  
 伊藤幸雄 堀田隆朗 近藤愛子 後藤克子 三嶋須磨子 藤原淳子 小林ひとみ  
 西村由美子 向井久美子 上田千津子 菊池剛聡 Nクロダヨシコ 敏仁病院・西野敏夫  
 森川・鈴木法律事務所/森川幸江・鈴木雅雄 各務原病院・天野宏一  
 慈恵中央病院・熊谷仁実 那加教会・中根汎信 フィット薬局・中田周三 ダルク後援会  
 ピア岐阜 岐阜県薬剤師会 森清クリニック 葉家連 愛知家族会 インマヌエル岐阜キリス  
 ト教会 カトリック城北橋教会 カトリック聖マリアの無原罪修道会 大垣教会 可児福音教  
 会 日本キリスト教会岐阜教会 カトリック五反城教会・信徒 カトリック高蔵寺教会

献品者名

アイ 岩見批名子 穂波かずる

助成金

岐阜市社会福祉協議会歳末たすけあい 指定寄付金

\* 皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

お振込みの際に、匿名を希望される方は、恐れ入りますが、その旨を振込用紙にご記入下さい。なお恐縮ながら、発送作業簡略化のために、すべての皆様に振替用紙を同封させていただきますこと御了承下さい。

一部の方におきましては、ご連絡先が分からず、御礼状をお出しできず、心苦しく思っております。お名前や住所に不備の有る場合もぜひ、ご連絡下さい。

\* 創刊号に掲載しました名古屋ダルク後援会はダルク後援会が正しいお名前でした。お詫びして訂正いたします。

## 献金のお願い

ダルクは皆様の善意の寄付によって支えられています。しかしながら、薬物依存症には偏見と無理解が多く、なかなか活動資金が集まらず苦しい運営を強いられています。大変心苦しく思いますが、どうか私たちを助けて下さい。

皆様のご協力をお願いいたします。

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会  
銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

岐阜ダルク1周年フォーラムの感想を沢山の仲間からいただき、とても嬉しく思っています。そして、誰よりも早くいただいた原稿を読むことができることを幸せに思っています。ニューズレターを作っていく上で、大事にしていることは、書いてくれた人の原稿に忠実であること。基本に忠実に原稿どおりの生の声を伝え続けられるようにしていきたいと思っています。

最近、嬉しいことがありました。新しい？出戻りの仲間が増えたことです。今年はどうな仲間と出会えるのでしょうか？沢山の仲間と出会えることを楽しみにしています。

私の今年のテーマは“愛”そして、出会いと経験。ニューズレターを通して、そしてダルクの仲間や支援してくださる方々を通して、“命のリレー”のお手伝いをさせてもらいながら、私自身も成長していきたいと思っています。

次は貴方に原稿をお願いするかもしれません。ぜひ、嫌がらずに書いて下さいね。



～新たなる年に感謝と祈りをこめて～

☆☆☆ (黒猫じじ)

雑誌つうしん 新年号

★編集 岐阜ダルク

〒500-8175 岐阜市長住町 7-3

TEL/FAX: 058-251-6922

ホームページアドレス: <http://www.sun-inct.or.jp/~jimny99/gifudarc-index.html>

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

★ 定価 一部・100円

★ 発行者 岐阜ダルク